

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和2年 4月 1日

事業所名 クオリティスクール

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		曜日によってばらつきがある、場所によってできることが限られる。一日利用者が多い場合は個別学習とパソコン学習に振り分けて工夫している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			出来る限り少人数を見るようにし、個別支援が出来るようにしている。1コマのみ利用者人数が多いという場合もあるが職員のシフトを調整して対応している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所に入るまでが段差などもあり、気をつけなければならない所がある。トイレのバリアフリーは整っているが玄関の段差など改善点がある。パソコンのコードが邪魔にならないように配線を束ねた。施設の利用者に車いす等を必要とする方がいない為、スロープなどの設置は出来ていない。簡易的なスロープを設置するなど受け入れ態勢を整える。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		支援後に職員間での情報共有を図り、常にPDCAを意識して支援の改善に取り組むことをしている。問題に対して解決が出来るように職員間で話し合うことが出来ているが、PDCAサイクルの考え方として実行できていない。PDCAを使用して業務を行っているのは正社員のみなので、全体でそのサイクルを回すことは出来ていない。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表やアンケートは職員間で情報を共有している。保護者の意見を尊重して改善につなげている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			客観的な評価・結果を支援に生かせるようにミーティングをして取り入れている。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			一度だけでなく何度か全員研修を受ける機会がある。研修の機会に恵まれている。直近3ヶ月で2回の研修を受けることも出来ている。
適切な 支援 の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	○			現場の職員の考えをサビ管・児発管が客観的に捉えて計画の作成をしている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		個別を中心としているため、標準化されたツールが弱みであるが独自に開発をしている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員別に立案することと、チームで立案して行うことがある。チームで有効な会議の場を設けることが出来ていない。多機能事業所としての時間の使い方、ミーティングの実施に関して模索中。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			子供の様子を見て集中力を養うことを考えているので固定化しないように工夫している。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		本事業所は個別学習をメインとしている為、長期休暇時には宿題や学校の課題等を個別に支援する事で対応している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別学習をメインで行っており、集団となるほどの利用児が集まる事は少ない。集団活動を望まれる方にはダンス教室を進めている。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝、ミーティングやホワイトボードに分担表を作成して内容や役割を確認している。学習記録も残していることから、職員間で話しをしなくても児童が今何をやっているのか共通して知る事ができる。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			打ち合わせとまではいかないが気づいた点はその日のうちに共有しあっていると思う。支援の様子を振り返り職員間で情報共有を行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			HUGシステムを活用して毎回の学習内容の様子や記録している。記録だけでなく情報交換をしながら改善すべき事は改善に努めている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			現場職員の意見を踏まえて定期的にモニタリング計画を改善している。

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		余暇時間の提供、パソコンを使用した創作活動等学習以外の時間も提供できている。社会スキルについては特に時間を設けていないが適宜になっている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		現場を見ている支援員、管理者等、相応しい職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		児童の事は送迎の際にできる限り普段の様子やその日の事を学校の先生に聞くようにしている。また、学校の行事等については他の事業所と連携しながら学校の情報を得ている。学校だけでは連絡がいき届かない部分もある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、ケアが必要な児童はいないが必要な場合にはすぐに体制を整えるように努めている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか		○	サビ管や管理者がやり取りを行い職員へ周知する流れとなっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	まだ卒業生がいた事例がない。機会が訪れた際には情報提供を行って行く。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関の方を講師に招いて研修会を行い職員スキルアップを図っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか		○	今現在はコロナの為参加や活動する機会を設けるのが難しい。
	㉗	協議会等へ積極的に参加しているか		○	コロナ禍という事もあり参加する機会が無かった。状況次第では積極的に参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎やお迎えの際、保護者とのコミュニケーションを大切に考えている為都度様子の報告確認を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者とは主に児童に対する会話が多く、実際事業所では家での様子を伺って支援を行っている。そのため、ペアレントトレーニングまでは及んでおらず、今後は保護者の相談やできることを模索して支援していきたい。
保護者への説明的責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学や体験時に説明を行い納得していただいでから入所していただいている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		学習相談はもちろんだが子育て、生活などの相談にも適任と思われるものが真摯にこたえられるようにしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今のところ保護者会を行った実績がない。今後はコロナの状況を見ながら開催できるようにしたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情を活かせるように委員会を設置し、職員研修の機会がある。迅速かつ適切な体制を整えている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		グループとして会報誌や「くおりにだより」といったものを発行し事業所の様子や情報を提供するようにしている。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		書類はPDF保管を基本として済んだ書類はシュレッダーをかけている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		フェイスシートで提出して頂いた特性を理解した上で対応している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	年に一度行っている発表会がコロナ禍で開催できず招待できていない。
非常時	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルの策定をし都度プリント配布している。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練を実施している。
	㊀	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○		研修会、委員会を設けて対応できるようにしている。

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の事例はないが事前に十分な説明をし了解を得たうえ行う事としている。
	④②	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在アレルギーのある児童はいないが、食物アレルギーがあった場合には医師の指示書に従って昼食の発注を行う。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月ヒヤリハットの事例を事業所内に周知し再発防止に努めるシステムが出来ている。